

注文票

注文 FAX 048-432-7335			
氏名:	住所:	電話:	Fax:
	〒		
部		注文数	
四六判並製 166 頁			
定価: 本体 1900 円 + 税			
2005 年 8 月 8 日 発行			
<p>日本僑報社刊行した主な書籍</p> <p>中国人特派員が書いた日本 永遠の隣人 人民日報に見る日本人 日中相互理解とメディアの役割 あこのころの日本と中国 (王泰平・陳京特稿集) 從昭和到平成 駐日十五年報道文集 東瀛八年 中国科技記者日本見聞 中国のインターネットにおける対日言論分析 日中「新思考」とは何か 中日関係に対する戦略的新思考 「対日新思考」論議の批判的検討 日中ホッペで大討論! 中国人の見た日本 中国人の日本奮闘記 中国の「対日新思考」は実現できるか</p>			

三つの国境を越えて

—二人の中国人少女が日本語で綴った体験的日米—

丁亦行・陸 藝共著 日本僑報社 | ISBN 4-86185-012-6

目次

第一部 国境を越え、自分が見えた/丁亦行

私は何人だ/十五歳のアメリカ高校留学/入学ショック/ユニークな授業/やる気があれば/嫌だ/祖国は何か/自分を見失う/私は中国系日本人と言えるか

第二部 中国→日本→アメリカを歩み/陸 藝

日本に来た/赤いランドセル/「敬語」を使えない私/アメリカ中学校の転校生/転校の初日/Mr. マクグアイアーとの交換日記/四年間奮闘した高校生活/上級クラス→トップ大学への通路/部活リーダーシップのゆりかご/名門大学にがり勉だけではだめだ/UCバークレーにゴールイン

著者略歴

■丁亦行 (ベベ) 1987年、茨城県つくば市で筑波大学大学院の中国人留学生の両親の間に生まれる。保育園、小学校、中学校、高校すべて、日本の学校に通った。両親の仕事の都合で、つくば、宇都宮、横浜、名古屋など6つの保育園を転々とし、小学校は三重県の久居市、中学校と高校は鈴鹿で過ごした。2002年9月高校一年生のとき、母親の仕事の都合でアメリカ、カリフォルニア州サンフランシスコ郊外アルバーニ高校に一年間留学。現在は中央大学法学部法律学科一年生。

■陸藝 (ルイ) 1984年中国上海で生まれる。四歳からピアノを始め、その後数々の賞を取ってきた。小学校二年生の時、父の仕事の都合で日本にやってきて、東京と埼玉の公立学校に通った。そして中学一年のとき家族全員アメリカへ移民し、カリフォルニアのアルバーニというまちに移住した。アルバーニ高校を経て、今はカリフォルニア大学バークレー校に在学中。



【内容紹介】 十五歳の亦行は日本生まれ日本育ち中国人の少女です。サンフランシスコ郊外のアルバーニ高校に十年生として一年間留学しました。そこで十七歳の陸藝(ルイ)さんと出会いました。ルイは上海で生まれ、小学校一年生から日本の公立小・中学校教育を受け、中学校一年生の時家族とアメリカに移住した中国人です。二人の少女は共通のバックグラウンドと経験を持ち、三つの国境を越えて、学校生活を通して自己発見のプロセスを写しだし、この本を企画、執筆しました。

この本では、日本にいたとき、受動的で無気力な心理状態だった二人の少女が、アメリカの高校に入ってから自分で考え、積極的に取り組む、自己発見に至るまでのプロセスについて、細かく描かれています。対照的な学校生活を通して語られる個性、創造性、多様性にあふれる教育の方法、学生と教師の相互関係、大学選考のあり方、さらに国境を越えた子供たちのアイデンティティ形成のプロセス・・・日本とアメリカという二つの社会の違いが二人の少女の目を通じてはつきりと写し出されています。

この本はただの二人の少女の自己発見のエピソードだけではなく、多民族社会へ移り変わるろうとしている日本の小、中、高校の教員にとって、個性、多様性と創造性を育てる教育方法の事例研究のような参考書籍になると思います。また、アメリカ高校の教育内容、教育方法と大学の入試への取り組みが本人たちの体験から描かれているので、アメリカ留学を計画している学生や親などの一般読者に対して、リアルな留学エッセイとして読まれることも多いと思います。